

物の交流、心の交流

盛岡市立仙北中学校 三年 大森 柚来

おおもり

やら

私の将来の夢は、日本と世界をつなぐ、物流関係の仕事に携わることです。

私は、両親の仕事の都合で、何度か引っ越しを経験しました。住む場所が変わる度に、仲の良い友達やお気に入りのお店などと離れてしまふ寂しさがありました。それと同時に新しい土地で新しい物と出合えることに感激を覚えてきました。奥州市の南部鉄器、岩泉町のヨーグルト、盛岡市の冷麺、。挙げればきりがありませんが、各地域の魅力ある名産品に、いつも胸を躍らせてきました。特に印象に残っているものは、岩泉町のヨーグルトです。地元産の新鮮な牛乳を使用するために酪農家さん達がする苦勞を、工場を見学したときに初めて教えてもらいました。また、台風被害に遭っても商品を持っていて、人達のために少しでも早く再建を目指して、決して諦めなかつた話も心に響きました。そこ

に、地域への思いや熱量が込められていると強く感じました。また、「物」が伝わるということは同時にそこに携わる人達の「心」が伝わることだと気付かされました。

物に込められた心を、地域や国を超えて伝えられる人になりたい。携わった人々の汗や涙、その物に込められた思いも物と一緒に伝えられたらという思いが私の中でどんどん膨らんでいきました。

私は「まだ」海外に行ったことはありませんが、海外への憧れを強く持っています。その夢に近づくために、私は、外国人講師のいる英会話教室に通ったり、テレビで英語や韓国語の語学番組を観て学んだりなど、今できることをしています。そしていつか、実際に海外へ行き、現地の文化や生活、人との交流を通して、体験、体感したいと心から思っています。

そんな折、中学生エレクトリア市研修のことを知りました。「絶対に行きたい」とその思い

がほとんど膨らんでいきました。

私は、まだ未熟なところがたくさんあります。でも、私は周りに助けられて発信したり、誰かが発信しているのを助けてメッセージをキャッチしたりすることができます。中学生活の様々な行事を乗り越える中で身に付けた私の大きな強みです。研修中は楽しいことばかりではなく、様々な課題や思いがけない困難があるかもしれませんが、持ち前の積極性や協調性を生かしながら、私の高いアンテナをフル活用して活動や交流を行います。

さらに、研修後は、経験や成果、課題をしっかりとふり返り、まとめたいと思います。それを他者へ伝えることで、共感してくれる人が少しでも増えることも嬉しいことです。自分が目指す将来像へより近づくために、今回の研修を有意義なものにしたいです。是非私をビクトリア市に行かせてください。